

科目名：歯科衛生過程 (Dental Hygiene Process of Care)

学科 (専攻)・学年：歯科衛生学科・2年 単位数：1.0 単位 開講年度学期：令和7年度 前期

授業区分：講義 担当教員：長谷 由紀子

授業の目的 (GIO)：患者の多様なニーズやデマンドへの対応や患者中心の医療の実現のためには、医療人の患者の理解と科学的根拠に基づいたケアプロセスによる専門性を発揮することが必要である。本講義では、マネジメントの観点から、医療人として患者-医療者関係の構築や根拠に基づく歯科衛生ケアプロセスの知識、態度・習慣、技能を修得する。

授業の到達目標 (SBOs)：

<認知領域 (知識) >

- ・ 歯科衛生ケアプロセスについて説明できる。
- ・ 情報収集の目的と必要な情報について説明できる。
- ・ 歯科衛生ケアプロセスによる情報の分類分析ができる。
- ・ 歯科衛生ケアプロセスによる歯科衛生診断ができる。
- ・ 歯科衛生ケアプロセスによる介入計画を立案できる。
- ・ 歯科衛生ケアプロセスによる介入の評価ができる。
- ・ 保健医療に関する行動科学の意義について説明できる。
- ・ 行動科学の知識やスキルを課題解決に応用できる。

<情意領域 (態度・習慣) >

- ・ 医療人として人間を総合的にとらえ、対話するコミュニケーションを表現する。
- ・ 医療面接における患者対応について、他者と討議できる。

<精神運動領域 (技能) >

- ・ 対人関係に関する理論やスキルを利用して、患者と良好な関係を構築するためのコミュニケーションの工夫ができる。
- ・ グループ討議を通じて、他者に分かりやすいプレゼンテーションが実施できる。

授業の計画と内容：第1講 本講義の概要、歯科衛生士の専門性、歯科衛生ケアプロセスの思考過程
第2講 歯科衛生アセスメント 症例① (情報収集)、(整理・分類)、行動科学理論
第3講 歯科衛生アセスメント 症例① (解釈・分析)
第4講 歯科衛生診断 症例①
第5講 歯科衛生ケア計画立案 症例①
第6講 歯科衛生ケア実施 症例①
第7講 歯科衛生ケア評価 症例①
第8講 歯科衛生士の医療コミュニケーション① (初診時の医療面接)
第9講 医療面接 (ロールプレイ)
第10講 歯科衛生士の医療コミュニケーション② (診療)
第11講 歯科衛生アセスメント 症例② (整理・分類/解釈・分析)
第12講 歯科衛生ケアプロセス 症例②グループワーク、カンファレンス
第13講 歯科衛生ケアプロセス発表準備 症例②
第14講 歯科衛生ケアプロセス発表1
第15講 歯科衛生ケアプロセス発表2、まとめ

評価の方法：ポートフォリオ (授業参加態度も含む) (80%)、振り返りシートなどの提出物 (20%)、

テキスト：『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』 佐藤陽子、齋藤 淳 編著 医歯薬出版株式会社
その他資料は授業内容に応じて適宜配布します。

参考書：『歯科衛生ケアプロセス』 下野正基 監修 医歯薬出版株式会社
『よくわかる歯科衛生過程』 全国歯科衛生士教育協議会 編 医歯薬出版株式会社
最新歯科衛生士教本『歯科予防処置論・歯科保健指導論』第2版 医歯薬出版株式会社
最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』第2版 医歯薬出版株式会社

皆さんへのメッセージ：講義と症例に基づいた個人・グループワークを中心に授業を進めていきますので、皆さんの活動でこの授業が成り立ちます。積極的な参加をお願いいたします。この授業を活用し、論理的な歯科衛生ケアプロセス、患者のニーズに合った医療を円滑にするためのコミュニケーションを実践してください。

全講を通し、担当教員が大学病院という臨床現場の中で歯科衛生士として医療や患者のケア、人材教育に従事した経験をもとに、歯科衛生士の専門性に基づく歯科衛生ケアプロセスの考え方や医療コミュニケーションについて具体的に示して講義を行います。